

学校だより

# 三川内中 心ひとつに

「全員が毎日楽しく登下校できる学校を目指します」

校訓「自主・誠実・健康」

NO.24

令和5年9月8日（金）

文責：校長 大田勝明

## 令和5年度 三川内中学校 第1回学校評価アンケート集計結果の考察

成果	<p>○多くの項目で、昨年度より評価ポイントが上昇した。これは、学校に対する期待を含めた数値であることから、今後も教職員、保護者、地域が一体となり、「全員が毎日楽しく登下校できる学校」づくりに邁進していきたい。</p> <p>○学校のカテゴリーでは、ほぼ全ての項目で4者ともに高い評価をいただいた。特に「NO3 特色ある教育活動」については、「三川内ならではの」「小規模校ならではの」教育活動を今後も展開していきたい。</p> <p>○生徒のカテゴリーでは、生徒自身の評価が示しているように学校の満足度はある程度高いと考える。特に、「NO11 友人関係」の評価が高いことは、楽しい学校生活を送る上でも良い傾向であると考え。</p> <p>○教師のカテゴリーでは、「NO18 授業」、「NO19・NO20 生徒とのかかわり」について高い評価をいただいている。教職員の頑張りを評価していただいていると考え、今後も自信をもって子どもにあたっていきたい。</p>
課題	<p>○「NO13 家庭学習」については、子どもと保護者・教職員の評価に大きな差がある。家庭学習に対する子どもの意識を高揚させる手立てについて検討し、今後研究の中で改善していけるように全職員で協力して取り組みたい。</p> <p>○「NO16・NO17 授業」については、教職員の評価が低く、教職員自身がもっと頑張らなければと考えている。今後は、教職員自身が授業力を上げるための研修の機会を増やし、子どもたちに還元していきたい。</p> <p>○「NO27 スマホの使用」については、全国的にも犯罪に巻き込まれたり、性被害につながったりと大きな問題となっている。本校においてもSNS上でのトラブルも発生しているためメディア講習会等を開催しながら対応をしていきたい。</p>

家庭学習の質向上のための対策として

## 『自主学習の達人』をリニューアルしました！

「AI」「イノベーション」「グローバル」。このような言葉を新聞で見かけない日はありません。10～20年後には、日本の労働人口の半分がAI技術やロボットにとって代わられる可能性があるともいわれています。これからみなさんが生きていく近未来は、今までと同じ考えや行動のままでは活躍できない時代になります。また仕事では、今できること以上のことを求められることもあります。指示されたことや与えられたことをきちんと実行できる力に加え、新しくわき出てくる困難や課題に対応する力が求められます。そのためには、これまで自分が積み重ねてきた知識や技能を掛け合わせて、自ら学んでいける力や意欲を伸ばすことが重要になります。中学生としての今、身につけるべき力は「自分にとって必要な学習を、自分で選び、取り組む力」です。

三川内中学校では、日々の学校での学習を基礎にして家庭での自主学習に取り組むことで、上記のような力をつけることができるのではないかと考えています。



※保護者の方も是非ご覧になり、家庭での指導に役立ててください。

